

8月22日

東地申第5号

E233系で発生したドアに関わる故障に対しての 緊急申し入れを行う！

E233系におけるドアに関わる故障が多発しています。京浜東北線において2018年7月29日、8月5日に後部運転台の車掌スイッチで全ドアが閉扉しない事象が発生しました。また、常磐緩行線においても8月10日にドアが一部開扉しない事象が発生しました。ドアの故障はお客さまに迷惑をかけ、安全に直結します。

また、京浜東北線の車掌スイッチの故障では、乗務員から指令に対して、回送にするよう要請がある中、運転士にドア扱いを指示するなど、安全よりも運行優先とも受け取れる現状に危機感を覚えます。

2018年5月15日、西日本鉄道において、ドアを開けたまま1.5km走行し、重大インシデントと認定されていることから、鉄道の安全と社会的責任を果たすため、最も安全と認められる道を探らなくてはなりません。現時点では、故障の原因や対策が明らかになっていません。このままでは、CBMなどの新しい検査手法の導入にも不安と疑問が残ります。今、発生している問題の課題解決を抜きに新技術導入は有り得ないと考えます。

したがって、以下の内容で申し入れますので、真摯な議論と回答を要請します。

記

1. 2018年7月29日、8月5日に発生した京浜東北線のドアに関わる故障、及び2018年8月10日に発生した常磐緩行線のドアに関わる故障の原因と対策を明らかにすること。
2. ドア故障時は原則回送扱いとすること。

以上

安全再確立！
今後、支部・分会と連携して団体交渉に臨みます！